

平成30年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
課題対応型学習活性化セミナー（道東会場） 事業報告

I 事業の概要

研修テーマ 住民とともに考える地域づくりの実現 ～ 学びと気づきの大切さ ～

1 趣 旨 各地域の課題解決に向け、新たな学習スタイルの創出や他機関等との連携・協働などにより、住民の主体的な行動を促すための方策を考える。

2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
根室管内社会教育主事会

3 期 日 平成30年6月28日（木）

4 会 場 中標津町総合文化会館 第2研修室

5 参加対象 市町村及び市町村教育委員会職員・各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）・社会教育関係団体職員・生涯学習関連施設職員・民間団体（NPO、企業等）関係者 等

6 参加状況 22名
（市町村教育委員会職員19名、生涯学習関連施設職員3名）

7 日 程

10:00	10:30	12:00	13:15	15:15	15:30	16:30
受付	開会	基調講演	昼食・休憩	情報交換・協議	閉会	個別相談

8 活動の概要

(1) 講演「人口減少時代のこれからの地域づくりに向けて」

【講師】北海道立生涯学習推進センター主幹 五十嵐 秀 介

【内容】 初めに、データを元に全国的に少子高齢化が急激に進行していることや、それに伴いコミュニティ機能が低下していることなど、現状を把握。その後、本セミナーに参加している全市町が、超高齢社会（65歳以上の人口が21%を超える）であることを確認し、国や道の動向を踏まえながら、これからの社会教育に期待される役割と方向性について話した。



(2) 情報交換・協議「“まち”と“ひと”、“ひと”と“ひと”をつなぐ社会教育」

【進行】道立生涯学習推進センター社会教育主事 中西 めぐみ

【内容】本セミナー企画段階で挙げられていた「連携・協働の充実強化」をテーマとし、初めに横の繋がりを活かした取組実施の有無やその内容についての情報交換を行った。その後、各地域の現状を個人ワークにより見つめ直し、どのように行政間、地域ボランティアや団体、他地域、学校と連携・協働を進めていくかについて協議を行った。参加者からは、「積極的に行動を起こし、意見交換ができる機会を増やす」、「課題を共有し、目的（ゴール）を一致させる」、「日頃から情報収集をする」といった意見が出された。



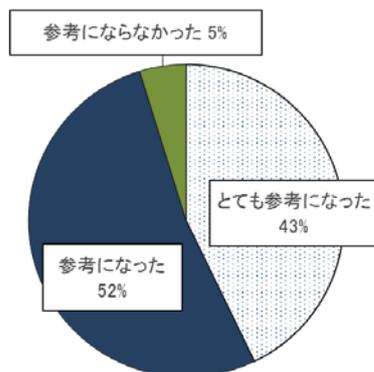
Ⅱ 事業の満足度

1 本講座参加者数 22名

2 アンケート対象者数 21名

3 全体をとおして

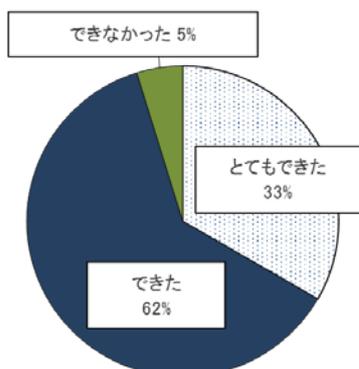
(1) 「住民とともに考える地域づくりの実現」に向け、本セミナーは参考となりましたか。



【参加者の声】

- すべて勉強になりました。
- 演習がとても勉強になりました。

(2) 地域の課題解決に向けた取組や方策について考えることができましたか。

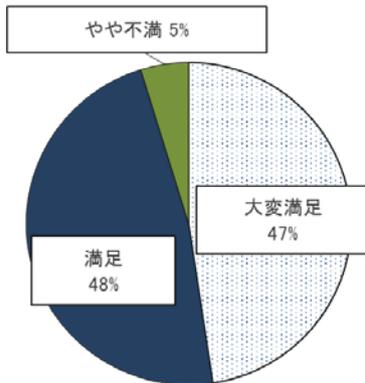


【参加者の声】

- 他管内の方も参加されていて、とても良かったです。
- 情報交換・協議で行ったワークのなかにヒントがありました。
- 自分自身が行っている業務やまちについて見直すことができました。

4 プログラムの内容について

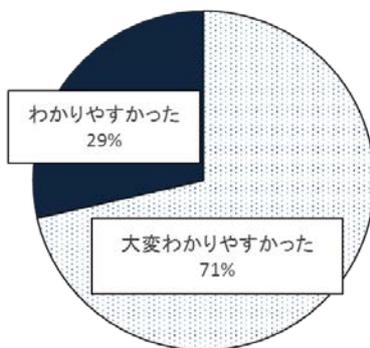
(1) プログラムの内容はいかがでしたか。



【参加者の声】

- 充実した内容で、時間を忘れて集中できました。
- 演習がとても勉強になり、今後に活かしていきたいです。
- 基礎から学び、考える機会になりました。

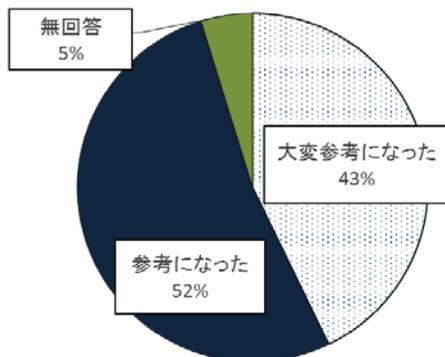
(2) 講師の説明はわかりやすかったですか。



【参加者の声】

- とてもわかりやすかったです。
- 資料が詳しく、大変参考になりました。
- 社会教育に携わってまだ2ヶ月の自分にも大変わかりやすい内容でした。

(3) 「情報交換・協議」の内容は参考になりましたか。



【参加者の声】

- 他市町村の方々と交流し、今後の業務に活かしたいことがたくさんありました。
- 共通の課題が多く、とても参考になりました。
- 他施設で勤務している方の考えを聞く機会はありませんため、勉強になりました。

5 その他、感想や気づいた点について

- 社会教育に携わっている年数が少ない参加者にもわかりやすい、理解しやすい内容でとても良かったです。
- 社会教育の範囲が広いことや義務教育と社会教育のことなど、お話が聞けてよかったです。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。